

せぐち かずよし  
 ■ 瀬口 和義

武庫川女子大学学長、武庫川女子大学短期大学部学長。1969年3月京都大学理学部化学科卒業。1971年3月京都大学大学院理学研究科化学専攻修士課程修了。1974年3月京都大学大学院理学研究科化学専攻博士課程単位取得後退学。1976年5月京都大学にて理学博士の学位取得。1975年4月武庫川女子大学家政学部兼武庫川女子大学短期大学講師。1984年4月～1985年12月在外研修員として西ドイツ(ヴェルツブルグ大学)に出張。1992年4月武庫川女子大学家政学部(現生活環境学部)兼武庫川女子大学短期大学部教授(現在に至る)。2011年6月学校法人武庫川学院理事(現在に至る)。2018年4月武庫川女子大学学長兼武庫川女子大学短期大学部学長(現在に至る)。

さとう いちろう  
 ■ 佐藤 一郎

国立情報学研究所・情報社会相関研究系教授/国立大学法人総合研究大学院大学・複合科学研究科情報学専攻教授(兼任)。専門:ミドルウェアやOSなどのシステムソフトウェア。学歴:慶應義塾大学理工学部電気工学科卒、同大学理工学研究科大学院計算科学専攻後期博士課程修了、博士(工学)。お茶の水女子大理学部情報学助教授を経て、国立情報学研究所ソフトウェア研究系助教授を経て、現職。デジタル庁「政策評価に関する有識者会議」座長、経済産業省・総務省「企業のプライバシーガバナンスモデル検討会」座長他を歴任。

おおた くにひろ  
 ■ 太田 邦史

東京大学理事・副学長(教育、情報担当)。1990年東京大学大学院理学系研究科生物化学専攻を修了(理学博士)後、理化学研究所の研究員などを経て、2007年東京大学大学院総合文化研究科教授、2019年同大学院総合文化研究科長、2022年より現職。専門は、分子生物学、合成生物学。

さかむら けん  
 ■ 坂村 健

東洋大学情報連携学部長。1951年東京生まれ。INIAD(東洋大学情報連携学部)学部長、工学博士、東京大学名誉教授。IEEE Life Fellow。1984年よりオープンなコンピュータアーキテクチャTRONを構築、米国IEEEの標準OSとなり世界中で使われており、2023年「TRONリアルタイムOSファミリー」がIEEE Milestoneとして認定された。2015年情報通信革命に功績のあった世界の6人の中の一として、国際電気通信連合より「ITU150アワード」を受賞。2022年 IEEE Masaru Ibuka Consumer Technology Award受賞。著書に『DXとは何か』など多数。

かなまる としゆき  
 ■ 金丸 敏幸

京都大学国際高等教育院・准教授。京都大学博士(人間・環境学)。ICTやAI、とくに自然言語処理の技術を外国語教育に導入し、教材や教授法、評価の改善に取り組んでいる。京都大学の新生全員が利用する英語e-Learningシステム「GORILLA」を開発し、その運用に携わる。著書に、『京大・学術語彙データベース基本英単語1110』(研究社:共著)、『TOEFL ITP®テスト公式テスト問題&学習ガイド』(研究社:共著)などがある。現在、一般社団法人大学英語教育学会(JACET)理事。

たかしま ひでひろ  
 ■ 高橋 英弘

京都産業大学法学部教授。法学修士。1989年4月京都産業大学法学部専任講師、同大学法務研究科教授を経て、2018年4月より現職。専攻は民法、医事法、消費者法。近時の著書として、『基本講義消費者法(第5版)』(共著)。

やまなか つかき  
 ■ 山中 司

立命館大学生命科学部教授。2011年慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科博士課程修了。博士(政策・メディア)。立命館大学生命科学部准教授を経て2018年より現職。専門は応用言語学、言語哲学(プラグマティズム)、英語教育政策。著書に『プラグマティズム言語学序説:意味の構築とその発生』(共著、ひつじ書房)、『プロジェクト発信型英語プログラム:自分軸を鍛える「教えない」教育』(共著、北大路書房)などがある。

にし の てつろう  
 ■ 西野 哲朗

電気通信大学大学院情報理工学研究科教授・データ教育センター長。1984年、早稲田大学大学院理工学研究科数学専攻博士前期課程修了。1984年、日本アイ・ピー・エム入社。東京基礎研究所研究員。1987年東京電機大学助手。1992年北陸先端科学技術大学院大学助教授。1994年電気通信大学電気通信学部電子情報学助教授。1999年同情報理工学助教授。2006年同教授。2010年改組により情報理工学研究科教授。2020～2022年同研究科長。電子情報通信学会ソサエティ論文賞(2002年)、IBM Faculty Award(2008年)、文部科学大臣表彰科学技術賞(2010年)など受賞。主な著作に「P=NP? 問題へのアプローチ」(日本評論社)、「量子コンピュータと量子暗号」(岩波書店)、「図解雑学・量子コンピュータ」(ナツメ社)、「デザイン思考に基づく新しいソフトウェア開発手法 EPISODE」(コロナ社)など。

まつし ま としやす  
 ■ 松嶋 敏泰

早稲田大学理工学術院応用数理学科教授。データ科学センター所長。1993年早稲田大学理工学部工業経営学科(現経営システム工学科)助教授。1997年同教授。2008年より現職。2001-2002年ハワイ大・電気工学科客員研究員。2011-2012年カリフォルニア州立大・バークレイ校・統計学科客員教員。

のむら りょう  
 ■ 野村 亮

早稲田大学データ科学センター教授。2004年青山学院大学理工学部助手。2010年専修大学ネットワーク情報学部講師、のち教授。2019年より現職。

さとう けんいち  
 ■ 佐藤 健一

滋賀大学副学部長。広島大学大学院理学研究科(博士課程前期)数学専攻修了。博士(理学)。広島大学原爆放射線医科学研究所准教授を経て現職。専門は統計学。応用統計学会学会賞(優秀論文賞)受賞(2010年度、2015年度および2023年度)。著書に『実況!Rで学ぶ医療・製薬系データサイエンスセミナー』など。

いちかわ おさむ  
 ■ 市川 治

滋賀大学データサイエンス学部教授。1988年日本アイ・ピー・エム株式会社に入社。2018年に滋賀大学に着任。専門は音声データ処理、テキストデータ処理。

うえき まさお  
 ■ 植木 優夫

長崎大学情報データ科学部教授。2008年岡山大学大学院環境学研究科生命環境学専攻博士課程後期課程修了。博士(環境学)。情報・システム研究機構融合プロジェクト特任研究員、山形大学医学部助教、東北大学東北メディカル・メガバンク機構助教、久留米大学バイオ統計センター講師、同准教授、理化学研究所革新知能統合研究センター研究員を経て、2020年より現職。

\* 本欄はお書きいただいた資料からできるだけ統一し、掲載しました。